

I 実践

1 研究主題

互いを理解し、「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」人権教育の在り方について

(1) 主題設定の理由

本校は 37 名の生徒が在籍する。生徒数が少ないこともあり、学年関係なく仲良くすることができる。実態として、思いやりと奉仕の心をもって、他者の役に立つことを進んで行おうとすることができる。一方で、友人関係でトラブルが生じると元の関係に戻るまで難しい傾向がある。そこで今年度の本研究主題を、「互いを理解し「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」人権教育の在り方について」と設定した。

(2) 研究のねらい

各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教育活動全体を通して人権教育の充実を図り、人権尊重の精神の育成を目指す。

(3) 研究内容

ア 学教行事やボランティア活動、福祉体験等の体験活動を通して人権尊重の精神を育む。

イ 1 人 1 人を大切にしたい学級経営を実践し、他者を尊重する人権意識を育む。

2 実践内容

(1) 学校教育全体を通じた実践

ア 体育祭〈全学年〉

(ア) 目的

- ・ 生徒 1 人 1 人が所属感を強くもつとともに集団の団結力を深める
- ・ 競技や練習を通して意欲的に取り組む態度を養う。

(イ) 内容

- ・ 1～3 学年混合の団を作成し、団対抗戦を行う。
- ・ 実行委員(生徒会役員、希望者)による運営を基本とし、生徒の自主的な参加と練習の計画化を図る。

(ウ) 成果

異学年との活動により学校全体としての団結力を深めるとともに、他者と協力して行事を行うことの喜びを味わうことができた。



体育祭での様子

イ 職場体験活動〈2 学年〉

(ア) 目的

- ・ 「働くことの意味」や「職業生活についての理解」を図り、「自己の将来を見つめる」ことができるようにする。
- ・ 「社会人としての生き方やルールを学ぶ」ことによって、社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を培っていく。
- ・ 地域社会への理解、進路への理解を深め選択肢を拡大する。

(イ) 内容

地域の事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実践について体験する。

(ウ) 成果

働くことを実際に体験することで望ましい勤労観・職業観や、社会を支えるために働く人たちへの感謝や尊敬の念を抱くことができた。



職場体験での様子

ウ 文化祭〈全学年〉

(ア)目的

全校生徒で1つの目標に向かって取り組むことを通して、「自ら考え
自ら感じ 自ら行う」生徒の育成を図る。

日頃の学習成果を生かし、生徒自らの手で創造する喜びを
味あわせる。日々の学習の成果を発表する場とする。

生徒会・学年生徒会などの活動の充実を図る。

(イ)内容

生徒会や実行委員によるオープニング・クロージングセレモニー、有志
による発表、吹奏楽部による演奏発表、各学年による学習発表を行った。

(ウ)成果

全学年で協力して文化祭を創り上げることができた。

また、発表等で友人の新たな一面を発見することができた。



文化祭での様子

エ エコサイクル(平沢中学区内の再生資源の回収活動) 〈全学年〉

(ア)目的

生徒が物を大切にし、リサイクル等環境への意識を高められるようにする。
地域の方々と協力して活動することで、学校と地域の協働体制をつくる。

(イ)内容

地域の方に持参していただいた資源ゴミ(新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶)
の分別や回収を行う。

(ウ)成果

活動を通して、協力を得た地域の方とともに持続可能な社会に向けて、
協働することの楽しさややりがいを感じることができた。



エコサイクルでの様子

オ その他の実践

- ・人権コーナーを校内に設置し、コロナ差別など身近な問題への注意喚起を行った。
- ・道徳の授業等で人権について考える内容を設定した。
- ・生活アンケートやQ-Uテストを実施し、交友関係や生徒の実態把握を行った。
- ・仲町交流センターの除草作業に参加し、年齢の違う地域の方と活動を行った。

II 今後の課題

本校では、各種行事や交流等を通じて人権を意識できる機会が多くある。今後も各教科や、道徳、総合的な学習の時間、学校行事など教育活動全体の中で、人権に対しての取組を更に充実させ、「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」人権意識を高めていきたいと考える。

また、全職員共通理解のもと、人権教育を推進していけるように研究や研修を充実させ、教師自身の人権意識を高めるとともに、より効果的な指導を行えるようにしていきたい。

III 人権コーナーの様子



人権コーナーの様子